

市議会だより

8月臨時会・9月定例会



「議会と語る会」検討結果報告… 2・3ページ



サッカーチーム「アルティスタ浅間（ジュニアチーム U-12）」の皆さん

令和元年度 決算を認定

主な内容

主な内容

- 9月定例会の概要 …………… 4ページ
- 一般質問 代表質問（5名）
個人質問（12名）
…………… 9ページ
- ぼうす
傍聴席・編集後記 …………… 20ページ

令和元年度「議会と語る会」検討結果報告

令和2年度「語る会」はコロナウイルス感染予防のため中止となりました。そこで、昨年の語る会で頂いたご意見について検討した結果を報告します。

令和元年に 頂いたご意見

昨年1月の小諸市議会議員選挙の無投票を受けて、昨年7月に開催された「議会と語る会」では、『市議選の無投票を考えると』というテーマでワークショップを行い、市民の皆様から様々なご意見を伺いました。

その後、私たち議会は皆様からのご意見等を踏まえ、次期は選挙となるよう、立候補者が議員定数を超えるよう、協議・検討をまいりました。特に「議員定数」や「議員報酬」について様々なご意見があったことから、「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」を立ち上げ、調査検討を進めてまいりました。

以下、項目ごとに、その検討状況をご報告させていただきます。

夜間・休日議会

夜間・休日議会は、人口数千人の町村議会では実施しているところもあるが、人口数万人の市議会の規模での開催はどうか検討しました。

議員の立場からすると、小諸市議会の議員の活動量調査から、小諸市ではほとんどの議員が専門に近い状況にあり、今すぐ夜間・休日議会を検討する必要はないのではないか、ということ。

また市職員の立場から考えると、市職員の夜間・休日の出席が必要となるので、負担が増すと共に市の人件費の負担が大きくなること。さらに市職員の働き方が多様化し、通常業務でも夜間・休日出勤が増えていること。

市民の立場から考えると小諸市議会・本会議のインターネット録画中継が開始され、希望する時

間に議会の視聴が可能になったこと。

以上のことから、現時点での夜間・休日議会の導入は絶対に必要なこととは考えられず、見送ることとしました。

選挙制度改革

定数以下の立候補者数であっても選挙をしたらどうか、また供託金額（市議会議員の場合30万円）を引き下げるべき、などのご意見をいただきましたが、これらは公職選挙法の規定であり小諸市単独で変更はできないことから、検討から外すこととしました。

議会から小諸市選挙管理委員会に、投票所の増設と、選挙運動用自動車・選挙用ポスター製作の費用など、小諸市の負担で賄えるものの情報発信の充実を要望し、検討して頂けることになりました。

議会だよりの工夫

広報委員会によって随時改善は図っていますが、「議会だよりモニター制度」を導入し、広く市民から多様な意見を募集し、工夫していく予定です。

インターネット

本会議の様子は、コミユニティテレビこもろ（CTK）で録画放送されていますが、全世帯が

対象ではないため、9月議会からインターネット動画配信ができるようにしました。

また「議会の見える化」を図るため、議会のスケジュールをインターネットのフェイスブックやツイッターで、本議会や各委員会の予定をお知らせすることにしました。これらはスマホやパソコンでも確認ができますのでご利用ください。



昨年の「議会と語る会」の様子

会派のありかた

小諸市議会基本条例に「会派制」が明記され、細部については会派規定に定められています。

昨年、議会基本条例の見直しを行うと共に、規程による活動を再確認いたしました。

議員の資質

小諸市議会基本条例にうたわれる第4条「議員の活動原則」を遵守することを再認識し、議員研修を実施すると共に、研修終了後においても議員間討議を更に増やし、研修を生かした活動ができるように取り組みます。

主権者教育

令和元年度は小諸高校と小諸商業高校で、議員による講義形式の主権者教育を実施し、その後のフォローも行いました。

小中学校に対しては、令和2年度に「こども議会」を実施する予定で日程も決めましたが、新型コロナウイルス感染症により中止となりましたが、実施の準備はできています。

議員定数・報酬

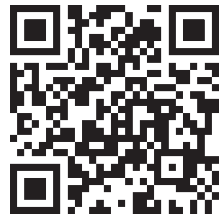
令和元年12月議会にて「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会」を設置し、令和3年12月までに結論を出すことを目標に調査、検討してまいりました。

委員会を17回開催した中で、人口の推移や市税の推移等を参考に検討するほか、これまで受講した研修会での識者の意見も参考として、令和2年

9月時点の中間報告では、『定数・報酬ともに現状維持』という結果となりました。

※中間報告の全文は左の二次元コードから確認できます。

▼市政・まちづくり▼
小諸市議会▼議員定数及び報酬等検討委員会・調査検討中間報告を作成しましたからご覧ください。



中間報告全文

委員会では比較検討のため全国112市へ調査依頼し、人口が小諸市の4万2千人に近い、3万9千人〜4万5千人の小諸市を含む37市との比較で検討することとしました。

小諸市の財政規模については中位であり、産業構造についても似通った構成の市が多数を占めることが分かりました。

37市の議員定数の平均は18・4人であり、小諸市の定数19人より0・6人少ない状況でしたが、現状の議員定数を減らすことは、二元代表制の議会として民意を反映することが低下すると判断しました。

議員報酬と政務活動費を合わせた平均は35万2千162円であり、小諸市より月額で7千162円多いという状況でした。

小諸市は平均より少ない状況でしたが、人口減少・高齢化状況下では増額することは市民の皆様への理解を得られず、反面減額とした場合は議員のなり手不足を助長するおそれがあると判断しました。

また、アンケート調査による「議員報酬や政務

活動費を増額したことで市議会選挙の立候補の状況はどうであったか。」については、増額したところでは立候補者が増えているという状況が確認できたが、必ずしも立候補者不足を解消できるとは言い切れない状況でした。

以上のことから、類似市との比較から見ると小諸市の議員定数は特になくなく、議員報酬等についても特に少なくないという状況でしたが、各自自治体の財政状況や地域性等が反映されており、数値の比較だけでは適正な数値を導くことはできな

『～市民の皆さんのご意見を
お寄せください～』

令和2年度「議会と語る会」は新型コロナウイルス感染予防のため中止となりましたので、「議会と語る会検討結果報告」をお読みいただいた感想・ご意見、議会への要望をお寄せください。

ご意見は、FAX（0267-22-2422）または、右の二次元コードからの入力をお願いします。

パソコンからは、ながの電子申請 小諸市▶ながの電子申請サービスにより受付可能な手続き等を紹介します▶ながの電子申請（小諸市のページ）▶小諸市議会だより「議会と語る会」についての意見募集 から申請できます。



ながの電子申請

令和元年度決算を認定

その他、令和2年度補正予算、条例改正、などすべてを可決、認定

9月定例会の概要

期間：8月27日から9月29日まで(34日間)
議案：令和元年度決算ほか全32議案
結果：承認、認定、可決、同意

令和元年度 決算の概要

令和元年度決算詳細は、『広報こもろ・10月号』の4～5ページに記載されており、そちらでご確認下さい。

議会だよりでは、決算審査における主な審議経過をお知らせいたします。財政指標など、目標に未達成の項目については引き続き注視してまいります。

8月臨時議会について、7ページで報告します。

小諸市気候 非常事態宣言

本会議最終日の市長挨拶において、「小諸市気候非常事態宣言」が表明されました。

(広報こもろで紹介予定)
これは本年3月議会において決議された「気候非常事態宣言に関する決議」を受け、宣言されたものです。

令和元年度 一般会計決算審議

財政課入札参加

問 入札参加範囲は、どのように決めているのか。

答 工事等の内容により競争が成りたつ事業者

数が確保できるようにし、小諸市内の業者数が少ない場合には、徐々に圏域を広げて入札を行っている。

市役所駐車場の使用料

問 現在2時間無料だが、来年の複合型中心拠点誘導施設のオープンに合わせて、使用料の見直しは検討しているか。

答 駐車場の遮断ゲートの保守点検や、シルバ―誘導員の人件費などの費用も考え、どんな形で駐車場使用料の見直しをすれば最大の効果が発揮できるか検討したい。

保育園給食調理業務委託

問 業務委託する目的はなにか。

答 現在の保育園給食の調理員体制は臨時職員のみだが、賃金が安いこともあって職員が定着できていない。職員の入れ替わりが多いと

アレルギー対応などで事故につながる懸念がある。

今回の委託に当たって一番の目的は、給食調理体制を整えることである。

食品衛生などノウハウを持つている業者に委託し、できるだけ現在働いている調理員をそのまま雇用してもらいながら、給食の安全を確保することが最大の目的である。

寺ノ浦石器時代住居跡

問 井子区の国指定史跡寺ノ浦石器時代住居跡の調査が終わったが、地域住民へ説明会を行うことを考えているか。

答 5年かけて発掘調査を行い、多数の出土品がある。令和2年度末までに遺物整理をし、3年度には調査報告書を出すので、その時に地元への説明会を検討したい。

障がい者スポーツの推進状況

問 小諸市の推進状況はどうか。

答 スポーツ推進委員会でポッチャなどのニユースポーツにも取り組んでおり、障がい者団体の方へ紹介している。



寺ノ浦石器時代住居跡

民生児童委員の活動

問 民生児童委員の改選が昨年12月にあり、3月からは勉強も兼ねて活動する時期だったと思うが、コロナ禍で活動の機会が少なくなっている。民生児童委員活動の難しさについて

問 質
答 疑
意 見

はどうか。

答 現在任期の1年目を迎えているが、新型コロナウィルスの影響で地域とのパイプ役としての本来の機能が十分に生かされていない状況だが、地区会を月に1回行うなど、苦しみながら活動している。今後は研修等を開催し研鑽を積み、地域との交流を図ってもらいたいと考えている。

「コミュニティ交通（こもろ愛のりくん）の運営

問 委託料が年々高騰しているが、理由は何か。

答 こもろ愛のりくんは午前中の利用者が非常に多く、応援便を出すことで、費用も増加した。今後は利便性と効率性の両立という課題があるので、費用削減に努めるよう運行业者と話し合っている。

予定か。

答 公募、非公募や契約内容の改善、変更等を含め、現在全体の検討を行っている。

問 あぐりの湯の指定管理の協定書には、指定管理料は原則払わず利益は市会計へ納入する、とあるが毎年赤字を補てんするように委託料が支出されている。見解はどうか。

答 協定書を作成した当初は温泉ブームもあり利益も出ていたので、儲かる前提で作られたと思われる。その後、競合施設ができ入浴者数が減少してきた。しかしあぐりの湯からは利用者数に応じて入湯税（市内全体で約3千万円／年）が市に入るので、そこも加味して判断して欲しい。

と。また赤字幅を縮めるよう、黒字に向けて積極的な取組を行うこと。

こもろ観光局の自立促進

問 こもろ観光局の自立促進の判断基準と見通しはどうか。

答 「自立」は国からの地方創生推進交付金がなくなり、市からの委託料のみとなっても運営できる状態と考える。事業を収益事業と公益事業に整理し、行政と観光局がどのように役割分担すべきかを、コンサルティングを受けながら分析・検討している。

同和对策事業の決算認定

＜反対討論・早川 聖＞

人権問題が多様化する中で同和教育を特別に扱うべきではない。「人権同和教育推進事業」の決算内容を見ると収入の大半が市からの補助金であり、厳しい財政状況の中で十分な検証ができない同和団体への補助金及び委託料と解放子ども会への経費は認めることができない。

＜賛成討論・清水喜久男＞

人権侵害や差別等の情報の拡大や悪質化が進む中、平成28年に部落差別の解消に関する法律が成立し、それに基づいて差別をなくすための教育や啓発が進められている。また議会が議決した予算を執行した結果である決算を認めないことは、合議制である議会制度に反すると考える。

交通安全通学路の整備

問 通学路の危険箇所は毎年PTA等から指摘があるが、対応できていない箇所はあるのか。

答 用地の制約や県道の関係等、協議が整わず整備ができていないところはあ

農産物ブランド化事業

問 小諸をPRする土産品等はできているのか。

答 御牧ヶ原の白いもやイチゴ園のイチゴを使った土産品等を開発しているが、コロナ禍で発表の時期を逃したため、タイミングを見計らっている。

農村資源活用交流施設

（あぐりの湯）事業

問 「次回、指定管理の選定を適正に行う」とあるがどのように行う

意 競合施設に負けないように、しっかりと指定管理の契約を行うこ



こもろ観光局 KOMORO TOURISM BUREAU
こもろ観光局ロゴマーク

予算決算委員会における議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で認定・原案可決されました。○は賛成、×は反対をあらわしています。議長及び予算決算委員長は、表決に加わりません。※1は議長 ※2は委員長

議案名	会派名・議員名 (空欄は無所属)																		
	あたらしい風			市誠会			創正会		日本共産	公明党									
議案第56号 小諸市一般会計歳入歳出決算認定	小林重太郎	中村憲次	清水喜久男	神津真美子	高橋充宏	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一	掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	福島鶴子	田邊久夫	楚山伸二
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	×	×	○	○	※2	○	○

令和元年度
特別会計決算審議

国民健康保険事業

問 基金残高は2億円程度であるが、今後の事業運営についてどのようなことを考えているか。

答 平成30年度から県が財政主体となり、市町村から財源をまとめた運営することになった。保険税率は数年後には県内で統一する方向であり、今年度中にロードマップが示される。県から示される納付額と当市の保険税率及び保険給付のバランスを見極め、早い段階から保険税率の見直しについて検討していく必要がある。

小諸市水道事業

〔水みらい小諸〕

問 上水道業務を『水みらい小諸』に委託したが、業務の効率化などはどうか。

答 効率的な運営の一番の目的は人材育成だと考えている。小諸市の現地採用で職員を育成し、今後維持管理をしていくところである。

令和2年度
補正予算審議

重要文化財「旧小諸本陣問屋場」保存修理事業

問 事業概要、活用方法はどうか。

答 国の補助事業である本陣問屋場の保存修理事業は、解体・復元、耐震診断及びその対策費用、貯水等の防火設備や電気設備等により合計で約10億円を見込んでいます。重要文化財は内部等の変更ができないので活用はかなり制限されてしまうが、大手門との周遊性なども含めて少しでも小諸市に利益が出るような活用方法にしたい。



旧小諸本陣現況写真

意 旧脇本陣（くめや）の再生は当初見込んでいたよりも大幅な増額となってしまった。そうならないように、財政状況も考えて活用方法を検討していただきたい。

新型コロナウイルス感染症外来検査センター

〔佐久地区で2番目となる検査センターの検査対象者、検査方法等〕

問 佐久地区で2番目となる検査センターの検査対象者、検査方法等はどうなるのか。

答 検査対象者は症状のある方のうち軽症者で、医師の紹介により、1日最大16人の検査を計画しており、業種別

なく一般市民が対象の予定である。中症・重症者は保健所経由で指定医療機関で検査していただく。検査方法はドライブスルー方式の予定で、唾液で検査を行うが、今後インフルエンザの流行等により検体を変更する場合もある。

問 検査対象者の自己負担はいくらか。

答 行政検査の費用は全額国費で自己負担はない。

問 医師からの紹介は無くても仕事で県外に出るなど検査が必要な場合は、自己負担で検査ができるのか。

答 症状があり医師から紹介された方のみ検査をする。その他自己都合で検査を受けたい方は、自己負担で検査を行なっている一般診療所で受けていただく。

意 検査対象者の枠を広

げて欲しい。希望者が検査を受けられるような体制に向けてご尽力をお願いしたい。

〔他委員〕必ずしも

誰もが受けられるように、とは思わない。

プレミアム商品券

〔第2弾〕

問 第2弾で改善された点はあるか。

答 第1弾（7月4日〜12月31日）では券を1枚1000円としたが、少額の買い物で使いにくいという声が寄せられたこともあり、今回第2弾（11月21日〜令和3年2月21日）は飲食・宿泊施設専用券と一般店専用券を全て500円券にする予定である。その分経費は掛かるが、使い勝手を優先したいと考えている。また、今回の商品券のプレミアム率は40%にする予定である。

条例審査

小諸市あさま奨学金給付条例の一部を改正する条例

例

問 奨学生の数を2人以上から4人以内に増員した理由はなにか。

答 一人でも多くの方に奨学金を使用して欲しいという奨学金原資の寄附者の意向により改正するものである。

小諸市景観条例の一部を改正する条例

〔景観審議会が常設でなく、案件毎に設置する〕

問 景観審議会が常設でなく、案件毎に設置するとした場合、市長は届出者に対し適切に指導・助言を行うことができるのか。

答 指導・助言は行えると考えている。

問 課題は審議会の体制作りかと思うがどうか。

答 条例改正後は、体制づくりの検討をしっかりと行いたい。

〈反対討論・掛川 剛〉

「景観審議会を設置する」から、改正案の「設置することができる」ということになる」と、設置するかの基準がわからない。審議会は常時設置するべき。また委員報酬は日額なので、委員を常時置いていても経費に変わりはない。

景観に関する取組みの後退につながる改正案には反対である。

〈賛成討論・山浦利夫〉

景観審議会は良好な景観の形成について調査及び審議するとされている。随時開催への変更は理解できるもので、諮問等に応じて専門家を入れて、審議が行える委員構成は必要であると考えます。それらに対応できる体制づくりや景観形成への取り組みをしっかりと進めていくとの答弁もあったので、改正案に賛成である。

本会議における議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で認定・原案可決されました。○は賛成、×は反対をあらわしています。議長は、表決に加わりません。※1は議長

議案名	会派名・議員名 (空欄は無所属)										日本共産党	公明党							
	あたらしい風		市誠会		創正会		日本共産党		公明党										
	小林重太郎	中村憲次	清水喜久男	神津眞美子	高橋充宏	山浦利夫	丸山正昭	小林一彦	高橋公	相原久男	田中寿光	竹内健一	掛川剛	早川聖	土屋利江	柏木今朝男	福島鶴子	田邊久夫	楚山伸二
議案第76号 小諸市景観条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※1	×	×	○	○	×	○	×

人事

2名の教育委員の任命について提案があり、同意しました。

- ・塩川 秀忠氏(新町)
- ・柳澤由美子氏(滋野甲)

任期は令和2年10月1日から、令和6年9月30日までの4年間

意見書提出

次の意見書を内閣総理大臣ほかへ提出しました。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書
- 義務教育国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

8月臨時議会

8月4日に1日の会期で臨時議会を開きました。

令和2年度補正予算の、国のコロナ関連給付金等による総額4億8千500万円の以下の事業を即決議案とし、審議の結果全会一致で可決しました。

- ① 小諸市出身大学生支援事業
 - ・ 帰省を自粛している大学生を、ふるさと納税の返礼品で支援する。
- ② コロナ関連緊急経済対策事業
 - ・ 県外在住者向け就職説明会広告料
 - ・ 観光誘客宣伝費用
 - ・ キャッシュレス決済ポイント還元
 - ・ 飲食店等感染予防
 - ・ 緊急融資利子補給
 - ・ 保証料補給など
- ③ コロナ関連緊急包括支援事業
 - ・ 保育園、認定こども園、児童館、児童クラブ等

の感染予防

- ④ 予防対策用備品備蓄事業
- ・ 新小諸消防署に感染防止用マスク等のための備蓄倉庫を整備する。

- ⑤ 小中学校感染予防および学習支援事業
 - ・ 職員室や給食室のエアコン整備と学習環境の整備

- ⑥ 出産子育て支援事業
 - ・ 新生児一人当たり10万円の支援追加(当初対象外の世帯)

- ⑦ ひとり親福祉事業
 - ・ 5万円の追加給付

- ⑧ ひとり親の子育て世帯特別給付金事業
 - ・ 子ども一人当たり1万円の給付

- ⑨ 自立相談支援事業
 - ・ 「まいさぽ小諸」の体制強化など

問 小諸出身の学生支援とは、対象は何名で何を送るのか。

答 400名予定している。生活支援という形で、経費を除いて一人当たり4千円分くらいの食料品を送りたい。

問 今までのコロナ関連の制度融資の実績と件数はどうか。

答 融資総額は6億2千80万円、件数は54件。1件当たりの平均は1千150万円である。

問 ひとり親世帯臨時特別給付金は家計が急変した場合に追加給付があるということだが、その急変を把握する基準はどうか。

答 あくまでも本人の申し出により受け付ける。平成30年中の収入との比較で、今年2月以降の収入が低い月があれば、それを1年間で換算する。

小諸市議会 9月定例会 議案審議結果

議案番号	議 案 件 名	結果
報告15	小諸市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	承認
56	令和元年度小諸市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
57	〃 小諸市等公平委員会特別会計歳入歳出決算認定について	認定
58	〃 小諸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
59	〃 小諸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
60	〃 小諸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
61	〃 小諸市奨学資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定
62	〃 小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
63	〃 小諸公園事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
64	〃 小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
65	〃 高峰財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
66	〃 御牧ヶ原財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
67	〃 古牧財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
68	〃 小諸市滋野財産区特別会計歳入歳出決算認定について	認定
69	〃 乗瀬地区市有地管理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
70	〃 小諸市水道事業会計利益処分及び決算認定について ※当年度純利益142,072千円（うち減債積立金36,000千円、建設改良積立金72,000千円、利益積立金34,072千円各積立）	認定
71	令和元年度小諸市公共下水道事業会計利益処分及び決算認定について ※当年度純利益59,616千円（うち減債積立金3,000千円、建設改良積立金30,000千円、利益積立金26,616千円各積立）	認定
72	令和元年度小諸市農業集落排水事業会計利益処分及び決算認定について ※当年度純利益51,759千円（うち資本金組入34,202千円、減債積立金2,600千円、建設改良積立金5,200千円、利益積立金9,757千円各積立）	認定
73	小諸市あさま奨学金給付条例の一部を改正する条例	可決
74	小諸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
75	小諸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
76	小諸市景観条例の一部を改正する条例	可決
77	市道路線の廃止について	可決
78	市道路線の認定について	可決
79	令和2年度小諸市一般会計補正予算（第7号）	可決
80	〃 小諸市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
81	〃 小諸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
82	〃 小諸市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
83	〃 小諸市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
84	〃 小諸市一般会計補正予算（第8号）	可決
85	〃 小諸市野生鳥獣商品化施設運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
86	小諸市教育委員会委員任命の同意について	同意

※第70・71・72号について公営企業はその財政的基礎を確立し、健全な運営を行うために、毎事業年度に生じた利益の全部または一部を、条例の定めるところにより、または議会の議決を経て処分（積立金への積立て等）することができるかとされています。

請願の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める請願書	小諸市教職員組合 白鳥 剛	採択
請願	義務教育国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願書	小諸市教職員組合 白鳥 剛	採択

一般質問

代表質問5名
個人質問12名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うものです。代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派所属議員が会派を代表して質問するもので、3月・9月及び市長の改選後初の定例会で行われます。

個人質問は、各議員個人が質問するものです。

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対応の状況下、3密（密閉、密着、密接）回避のため基本持ち時間を40分にするなど「質問時間の短縮」を図りました。

代表質問



コロナ禍を生抜くには生活再建の保障が大事

日本共産党 質問者 早川 聖

質問

プレミアム商品券「こもろ応援チケット」の効果として、市民の中から使いにくいとの声が寄せられている。他の幾つかの自治体では、プレミアム分も3割と多く、200円・500円という少額な商品券もあり、公平感のある方式が取られている。その一方、小諸市の場合はある程度収入がある方は購入できるが、そうでない方は購入できないので、公平に市民に行き渡っていない。生活保障の観点から欠けていると思えるがどうか。

産業振興部長

地域内で新型コロナウイルスの影響を克服する機運を高め、市民間で地域経済を立て直し、市内消費を回復させるためのもの。その副次的な効果として市民生活への支援・生活保障の部分があるので、そこが欠けている事業ではない。

質問

経済波及効果、経済対策は一定程度の成果が出ていることは評価をする。プレミアム商品券「こも

ろ応援チケット」の発行を急ぐばかりで、議会の中でも十分な議論が不足していた点は反省をしたい。

市の顔である相生町商店街を一つ取っても、飲食業や観光業だけではなく、多業種があつて成り立っている。生活保障の観点、公平性を担保した支援制度を求める市民の声を聴くが、市長の受け止めはどうか。

市長

指摘の多職種・他業種の産業を支えていく、そのことは私も必要だと思っている。

今議会の追加補正予算（案）で1千円の商品券ではなく500円も発行し、高齢者の独り世帯等、そういった方々にも使いやすいような形で、一度に1千円以上使うことができない家庭等、様々な市民の皆さんの声を反映した形で発行ができればと考えている。

質問

コロナ禍における地域の在り方、行政の在り方など、ピンチを打開し苦境から脱する機会と捉え、切

り替え、乗り切るための方策を今から準備していくことが大事ではないのか。それには、コロナ対策の位置づけを明確にする必要がある。新しい生活様式が次第に浸透し、オンライン化やリモート化されてきている。

小諸市の移住促進、新産業の創出、安心できる「コロナ対策など」、「健幸都市こもろ」の小諸モデルを関係者と連携して早い段階で構築する必要があるのではないのか。

市長

「健幸都市こもろ（小諸版ウエルネス・シティ）」は、コロナ禍において全国モデルになるのではないのか。人々がこの時代でも輝ける、自己実現ができる小諸市を目指して、移住・定住等も含めて、魅力あふれる小諸市にしたい。



安心して住み続けられるまち小諸



燃やすごみ・飲料水・害獣ニホンジカの活用
市誠会 質問者 高橋 公

質問

ごみ焼却施設「クリーンヒルこもろ」は平成28年1月から稼働しているが、当時の設計もくろみに対し、能力は発揮できているか。

市長

燃やすごみの焼却炉の能力は、1日16時間で24トン、年間で5千956トンと推計し、令和13年3月まで契約している。

しかしながら令和元年度は「ステイホーム」の影響もあり、燃やすごみが6千934トンまで増加した。年間7千トン程度までは現契約のまま、土日も稼働することで処理可能と考えている。

質問

焼却能力にまだ余裕があるようだが、年間フル稼働だと8千トンくらいまで処理できる計算となるが、実際はどうか。

市民生活部長

現在の職員数と1日16時間という稼働時間の制限の中で8千トンまでは難しいと考えるが、運営会社と検討はしている。

質問

小諸市では上水道の安定供給のための最もベストに近い手段として、「水みらい小諸」への水道の維持管理業務等の委託を選択し、令和元年10月より委託業務が始まったが、もくろみ通りの業務展開となっているか。

市長

業務開始直後の10月12日の台風19号の時には、「水みらい小諸」が親会社の「スインググループ」から3人の応援を受け、昼夜交代で勤務体制を組み、施設の点検や発電機の燃料補給をした結果、小諸市では断水を防ぐことができた。さらに、深刻な断水に至った立科町に応援給水を実施できた。

質問

最大の目標である「技術の継承と人材の育成」はできているか。

市長

「水みらい小諸」には、より早期の経営安定化と地元雇用による社員の採用をお願いし、目的達成に向けて取り組んでいる。

質問

野生鳥獣商品化施設について、この施設は増えすぎて害獣となったニホンジカを駆除し焼却するのではなく、鹿肉などを活用するために平成27年から稼働している。現在の状況はどうか。

市長

以前は、捕獲されたニホンジカは焼却処理等をしていたが、現在では捕獲個体の9割以上をペットフードの原料や、ペットフードブランドとしての利活用を実現できた。

質問

各種ペットフードの加工品の売れ行きはどうか。

産業振興部長

現在では精肉の大部分は大手ペットフードメーカー向けに販売している。小諸ブランドのジャーキー、ウエットフード、ドライフード、角、骨、鹿皮などは、個人、動物病院、製薬会社等にご利用頂いている。また、ふるさと納税の返礼品として平成元年度には627件の寄付を頂いている。

質問

全国学力調査で、小諸市は全国平均より若干低い実績値であるが、

令和元年の実績をどう評価するか。

教育長

平成28年度に小学6年生だった児童は令和元年度は中学3年生で見ると、3・3ポイント上昇している。これは学力向上の取組の成果として評価できる。

質問

学力の実績値が上昇傾向であることは理解するが、全国平均と比較すると下回っている。全国平均に追いつくような具体的な取組はあるのか。

教育次長

県教育委員会から学校ごとの分析結果を頂き、指導主事を招いて勉強会を行う等、学校ごとに主体的な学びについての勉強会を実施しているため、それを継続していく。



クリーンヒル小諸



全ての人のいのちが輝くまちを目指して

あたらしい風 質問者 高橋充宏

質問

小諸市の将来負担比率の今後の予測と将来展望はどうか。

財政課長

今後多大な財政需要が続く中、基金の減少に伴い将来負担比率が上昇することが予想されるが、長期財政見直しなどにより行政改革をしっかりと進め、健全財政を維持したい。

質問

令和2年度は公園事業の有料入園者数の大幅な減少が見込まれるが、現状と今後の事業運営はどうか。

産業振興部長

今後開催予定の紅葉まつりなどで有料入園者数を可能な限り確保したいが、これまでの減収が大きいため、令和2年度は一般会計からの繰入を検討する必要がある。また、コロナ禍において誘客活動は難しい状況だが観光局と連携協力し、ウィズコロナ及びアフターコロナに向けて回復に努めたい。

質問

小諸市土地開発公社の役割と今後の運営方針はどうか。

産業振興部長

複合型中心拠点誘導施設整備事業における公共用地取得にも一定の実績があり、組織の存続意義が一定程度認められる。今後は市の財政支援により5年間で財政的リスクを解消した上で、令和5年度を目処にその後の方針を検討する。

質問

小諸市の生活困窮者において生活が困窮する主な理由はなにか。

保健福祉部長

勤務先での人間関係などによる転職・退職、病気による失業、借入金による困窮などの要因がある。また、要因は一つではなく様々なことが複合的に重なり、金銭的及び精神的に追いつめられることが考えられる。

質問

様々な理由をもつ生活困窮者に対する相談体制はどうか。

保健福祉部長

社協のまいさぼ小諸に相談窓口を設置し、相談者個々の支援プランを作成している。このプランの検討や支援方針などは、各専門機関が参考した支援調整会議での意見を参考に進められている。庁内では健康づくり課・高齢福祉課・教育委員会など、庁外ではハローワーク・民生委員・児童委員などが専門機関として参画している。

質問

小諸市は子どもたちの貧困に対する策が取られているか。

保健福祉部長

SDGsの目標の一つであり市の総合計画と次期基本計画などに盛り込む検討をしている。また地域福祉計画に子どもの見守りや居場所づくり、悩みに対する相談支援体制の充実が盛り込まれている。

質問

コロナ禍の影響による生活困窮者の状況と対応はどうか。

保健福祉部長

市内においても大きな影響を受け生活困窮者が急増し、主に生活福祉資金の貸付制度の利用で対応している。コロナ禍の困窮は自身の事情による原因ではなく社会的

な事情のため、相談者は就労意欲が高く短期間での自立が期待できる。時間の経過による身体的及び精神的疲労が、自立の妨げにならないよう市としても早期の支援を目指している。

質問

生活困窮者には一時的な経済支援だけではなく、生活困窮から抜け出し、再び陥らないための自立支援が必要である。市は、より丁寧かつ包括的な支援をすることで生活困窮者が相談しやすくなると考えるがどうか。

市長

コロナ禍において生活困窮者が増える可能性の中で、新しい時代に向けて全ての人のいのちが輝くまちを目指し、しっかりと取り組みたい。



社協に設置されている「まいさぼ小諸」



ポストコロナ時代をどう生き抜いていくのか

公明党 質問者 柏木今朝男

質問

令和元年度決算状況を踏まえて、現在のコロナ禍がもたらす経済悪化や、従来からの高齢化等による社会保障費増加など厳しい環境の中、これからも持続可能な小諸市であり続けるために、今後の健全な財政運営の考え方について質す。

市長

国のコロナ対応、地方創生臨時交付金などを活用し、新たな日常の実現に向けた事業の展開と共に、今まで以上に各事業の優先度を見極め、経済動向に留意し税収等の歳入を注視した財政運営に努める。

質問

ポストコロナ時代を生き抜いていくためには、デジタル化の加速が重要であり、行政サービスについても、新しい生活様式への対応と共に、地域住民への更なる利便性の向上、行政サービスの効率化や生産性の向上を図る上からも、行政手続のオンライン化、ペーパーレス化やテレワークの導入、各種データのオープンデータ化等を、

今こそ本腰を入れて取り組むべき「時」であると考えているが、小諸市の行政運営におけるオンライン化の考え方について質す。

市長

現在、必要に応じてオンラインで会議を実践している。テレワークは実施していないが、テレワークの導入、導入に向けたシステムの構築を検討している。窓口などのオンライン化は、マイナンバーカードを利用した各種手続のオンライン申請の導入を検討している。

質問

コロナ禍によって、経済や医療、教育などの社会的機能が首都圏に一極集中していることの脆弱性が浮き彫りになった。これを契機に地方分散型の社会へのシフトが加速しているが、本市としてこのチャンスを見逃さず、新たな視点でスピード感を持って先手を打つ戦略と、地の利を生かし、地域の価値を高めるまちづくりをすべきと考えているが、ポストコロナのまちづくりに関する考え方はどうか。

市長

「健幸都市こもろ」の理念のもと、豊かな自然や歴史文化、地の利、歴代の市政の中で培ってきた子育て、教育、農や食によるまちづくりなどを生かして、更には、小諸らしさの移住施策などポストコロナ時代の新たな社会変容に対応して、この地域の価値を高める、選ばれるまちにしたい。

質問

AIやMaas（マース）等デジタル技術を活用したポストコロナ時代に対応した公共交通体系の整備について質す。

市長

本年度、地域未来構想20オープンラボに応募して、今後の改善に向け、どのような活用ができるのか、様々な研究を進めていきたい。



デジタル化の加速を！



小諸市動物園再整備「ペンギンが空を飛ぶ」

創正会 質問者 相原久男

質問

小諸市動物園再整備により、北海道旭山動物園の「ペンギンが空を飛ぶ」また、池袋サンシャイン水族館の「空飛ぶペンギン」に少し近づく計画になるのか期待をしているが、方針と進捗状況はどうか。

市長

小諸市懐古園運営委員会からの

答申に基づき、シンポジウムや市民懇談会などで頂いた意見を踏まえ策定した「将来構想」で再整備の方向性を示し、その後、有識者会議で検討を加え、「小諸市動物園再整備基本計画」を策定し、この基本計画に沿い今年度から具体的な事業を開始した。

ペンギン舎などの実施設計は6月から、既存獣舎の解体工事は9

代表質問／個人質問

月から着手し、いずれも年度内の完成予定である。その後、ペンギン舎などの建設を、令和3年5月ごろから始め、年度竣工を目指す。新施設オープンは令和4年5月を予定している。

工事のため9月1日から10月23日、11月24日から令和3年2月28日の間、動物園は臨時休園になる。継続的に休園となるため、懐古園入園料は一部減免とする。

再整備は段階的な長期計画となっている。現段階の第1期工事は国の補助金を活用して実施することが決まっているが、第2期工事は以降は財源状況を見極めながら、段階的な整備とする予定である。

質問

第2期工事で以降の財源の確保については大変なものがあるが、今からクラウドファンディングなどによる資金調達の検討も必要だと思っがどうか。

産業振興部長

財政負担が非常に大きくなるので、第2期以降の整備については財源確保を前提として進めることになるので、議員提案のクラウドファンディングや、個人、また企業の皆様からの寄附を募る、また

新たな補助金の確保なども検討しながら財源確保の手だてと併せて検討する。

質問

新型コロナウイルスの影響で、燃えるゴミ、プラスチックごみ、粗大ごみなどの持ち込みが非常に増えている状況であるが、クリーンヒルこもろの運営を見直すことで稼働ができると考えてもよいか。

市民生活部長

運営先のグリーンサービスと協議が必要で、人材の確保や、土日にどう運転するのか等、検討をすることで現状の7千トン弱のものは燃えるかと思っている。

燃えるごみなどの減量に市民の皆様の一層のご協力が必要と思っているので、よろしくお願いしたい。



ペンギンは空を飛べるかな

個人質問



企業誘致や雇用促進に繋がる工業団地は

清水喜久男

質問

企業誘致や雇用促進に結び付く工業団地整備の必要性をどう考えているか。

市長

工業団地の保有は、地域経済や雇用確保、財政基盤の強化など、様々な効果が見込まれるので最重要施策として取り組んでいるが、工業団地整備には多額な費用が必要となることや、景気の動向の見極め等で計画を先送りしていた。

しかし、本年6月以降、多くの企業から引き合いがある時点で、民間物件の紹介のみでは、他の自治体との競合において不利となるので、工業団地を持つことで競争力を確保できると考える。まずは、インター小諸工業団地整備の完了と売却に注力し、並行して新団地計画の検討を進めたい。

質問

佐久平駅から佐久市赤岩区、常田区を経由して三岡地区へ通じる構想の佐久平駅アクセス道路については、三岡3区と和田区が、平

成30年6月に推進協議会を立ち上げ、要望活動などをしてきている。それから2年が経過したが、推進状況はどうか。

市長

この道路は、佐久平駅や周辺施設の利用で、三岡地区はもとより市街地や川辺地区等からのアクセス向上や、自治体間を結び地域発展につながる重要な路線と考える。現在、事業を進める基礎資料として、小諸市と佐久市の都市計画図を合成した地形図の作成を行っている。佐久市も重要な路線であるとの認識なので、長野県や関係する皆様と協議を進めたい。



深沢工業団地（次の工業団地の整備を！）



テレワークセンターを設置してはどうか

小林 一彦

質問

コロナ期における移住定住促進をどのように捉えているか。

市長

コロナ禍においては、多くの企業で在宅勤務のルール化が進み、首都圏では、テレワークでも十分仕事ができるということが実証され、満員電車で通勤していることへの疑問などから、働く方の価値観が大きく変化しているようだ。

現在の移住施策は、メリットの一つとして、東京にも通勤可能であることをうたっており、テレワークの浸透により、毎日ではなく月に数回首都圏の会社へ通えばよいという状況は、さらに追い風になるものと考ええる。

企業としても、コロナ禍をはじめ様々な災害から社員を守り、業務継続をどのように確保するのかが観点から、大手企業の地方移転の動きも出てきている。テレワークで一定の業務がこなせ、さらに働き方改革や経費節減にもつながる動きが出てきているので、本

市としても、この誘致に重点的に取り組みたいと考えている。

質問

移住者などのテレワークを支援するために、テレワークセンターを設置してはどうか。

市長

アフターコロナの移住推進においては、テレワークが非常に重要な鍵であると認識している。まずは実際にテレワークをしている皆さんの、移住体験ツアーを9月以降に複数回計画しており、参加者の声を反映し、テレワークに特化した移住施策について検討していく予定である。



在宅勤務



深沢砂防ダム内の復旧工事を願う

丸山 正昭

質問

深沢砂防ダムに堆積した土砂のしゅんせつと、傷んだ放水管及び水量調整ができない放水口の復旧・更新の見通しはどうか。

市長

取水施設の更新整備については、市の単独事業では、多額の費用や受益者負担が発生することから、国や県の助成が見込める補助事業での実施を検討する中で、来年度以降の事業採択に向け、計画作成を進めている。

また、応急的な対応である一部土砂のしゅんせつについては、恒久的な対策でないことから、この補助事業の中で対応することができないか検討している。

質問

自治会と市政の連携強化についてはどうか。

市長

自治会と市行政の連携としては、参加と協働による市民主体のまちづくりを実現するために、引き続き市職員で構成する地域職員連絡

会、及び地区担当職員が地域と行政のパイプ役として、積極的に地域に関わることで、市民の皆様の見解を可能な限り市政に反映できるようにしていくことが大切であると考えている。

また、市職員には、そこに暮らす住民の一人として、社会的なつながりを高め、地域コミュニケーションや市民活動のリーダーなど、地域づくりのキーパーソンとの連携を深め、地域が元気になるまちづくりに寄与することに期待している。



復旧・更新がまたれる深沢砂防ダム放水管



コロナ禍における人権と公共施設の在り方

楚山伸二

質問

コロナ感染に対する恐怖心から、誹謗中傷、差別や偏見の事象がある。市役所内に「専門の相談窓口」や、地区役員や事業所などもサポートする「人権チーム」を設置して、感染された場合でも安心して生活できる体制づくりが必要であると思うがどうか。

市長

区長や関係機関と相談しながら、そういった体制づくりができるよう、前向きに取り組んでいきたい。

質問

今後、児童生徒が感染した場合を想定して、学校の現場では先生方、児童生徒、あるいは保護者等関係者に対して、どのような指導、対応が行われているか。

教育長

人権意識は心の問題なので、感染する以前に、どう指導しておくかが一番大事である。相談できる体制は日常的に作ってきた世界で、コロナに関しては指導を強め、科学的知見に基づいた対応をする。

質問

今後の厳しい財政運営を見込んで、大型事業の先送りなど優先順位の見直しを表明している自治体もある中で、当市における新規及び計画中の公共施設整備を変更する必要はないか。

市長

市民の生活に直結する喫緊の課題解決への対応を最優先とし、不要不急の事業は延期や中止など臨機応変な対応が求められている。今後の歳入状況を見極めた上で、優先順位をつけて事業の執行に努めていく。



財政目標未達成の改善策はどうか

田中寿光

質問

交付税措置のない地方債借入れ状況はどうか。

市長

令和元年度一般会計では、27件15億8百万円の借入れを行い、交付税措置率が70%となる消防庁舎整備事業の4億8千万円余りをはじめ、低いものでも実質20%の交付税措置がある起債を活用しており、交付税措置のない起債について借入れはしていない。

質問

令和2年度作成予定の「市単独補助費・扶助費」の見直し基準はどうか。

市長

市単独で行っている各種団体、個人への補助金、負担金の一斉見直しを行い、市単独の扶助費についても、国・県制度との重複がないかを再点検した上で見直しを行い、令和3年度当初予算から結果を反映した編成を行うとしている。また、見直しによる影響が受給者などの生活、団体等の存続等に著

質問

しく影響を与えるときは、猶予期間を設け段階的に実施していくことにしている。

質問

公共施設整理のための「個別施設計画」の具体的対応はどうか。

市長

5月1日付の組織機構改革により、施設管理室を新たに設置し、公共施設の再配置、複合型中心拠点誘導施設の総合管理をはじめ、市庁舎及び市庁舎周辺敷地を一体的に管理し、ネットワーク型コンパクトシティの推進を図ることとした。



厳しい財政運営



生活激変世帯の児童生徒に確実な支援を！

小林重太郎

質問

コロナ禍により、世帯収入の減少など生活環境に変化のあった児童生徒について、どのように把握し、どのように対応しているか。

教育長

就学援助は、年度当初に案内している。今年度は新型コロナウイルスの影響により、世帯収入の減少が見込まれる場合にも相談するよう、7月下旬に再度案内を出した。

質問

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーは、コロナ禍の中で、どのような活動をしたのか。

教育長

学校の長期休業で家庭の中に親子が一緒にいる時間が長くなったことで、かなり難しい面が出てきたのは事実である。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーにもコロナに関係した内容と分類できる相談があった。相談して良い状況になっていると思う。

質問

ひとり親家庭の子どもへの1人1万円の小諸市独自の上乗せ給付は大変良かった。ただ、非常に厳しい現状から、ひとり親世帯や生活環境激変の子育て世帯には、さらなる力強い支援を打ち出していくべきではないか。

市長

国からの地方創生臨時交付金でさまざまな経済対策、生活支援、ひとり親世帯への給付などを行ってきた。今後も必要とされる方に必要な給付を行うスタンスで取り組んでいきたい。



こども食堂



令和元年度決算行政報告を受けて

山浦利夫

質問

自主財源の安定的な確保と歳出の効率化のために、行財政改革にどのように取り組んでいくか。

市長

一昨年1月に、戦略的で効率的な行政経営の推進に関する実行計画を策定した。実行計画は、コスト意識を持った事務事業の見直しと改善、アウトソーシングの推進など、7項目の実施項目を挙げている。この実行計画に沿って行財政改革を着実に進めていく。

質問

事務事業の見直しなど、事業の取捨選択は市民生活への大きな影響が考えられる。市民への説明責任を果たすうえからも、事業の有効性や必要性、改善方向などを評価する客観的な資料として「事務事業シート」の作成が必要だと考えるがどうか。

企画課長

本年度、各職場での検討をまとめた事業の見直しシートを初めて活用してみた。客観的に説明でき

るシートは必要だと考えており、今後改良をしながら進めたい。

質問

高齢化が進展する中で、ごみの戸別収集を検討してはどうか。

市長

これまでも、ごみ出し困難者への支援について検討してきた。高齢者などを取り巻く環境は多岐にわたるため、将来的な地域コミュニティのあり方を踏まえ、検討していくべき課題であると認識している。今後は地域包括支援センターなど、関係機関との協議を進め、他の自治体の状況等を研究し、引き続き検討をしていく。



地域のごみ集積所

個人質問



プラスチックごみの現状と再資源化の課題

土屋利江

質問

レジ袋有料化に伴い、プラスチックごみ量の現状はどうか。

市長

家庭から出るごみの量は増加傾向にあり、収集量でレジ袋有料化の削減効果を見る事は難しい。ごみ・資源物組成調査のレジ袋枚数調査により、レジ袋有料化に伴う現状とその推移を把握する。

質問

資源物再商品化のペットボトルの状況はどうか。

市長

過去5年間50t前後の収集量で、品質調査でも最高ランクの総合判定Aであり、拠出金の収入は5年間で合計873万円である。

質問

再資源物の古着の回収状況と課題はあるか。

市長

輸出入先各国の古着の流通が滞り、古着の収集を停止する自治体があるが、本市では資源回収業者の協力により収集を停止していない。

人口規模	自治体数	策定数	策定率
10万人未満	1,416	360	25%
10~50万人	249	95	38%
50万人以上	35	20	57%
うち政令市	20	14	70%

平成31年3月時点

市町村の災害廃棄物処理計画の策定状況

安定的なりサイクルを行うための処理ルートの確保が課題である。

売却単価は相場に左右されるが、収集した古着が有価物として安定的に取り引きされ、より売却収入が見込める分別収集を行うことも課題である。

質問

災害時における災害廃棄物について、災害廃棄物処理計画の策定状況はどうか。

市長

昨年度に環境省の災害廃棄物処理計画策定モデル事業に参加し、計画案骨子が作成でき、年度内の策定を目指し手続きを進めている。



市民協働で支える健全な行政経営

田邊久夫

質問

基本構想における「めざす地域の姿」について、各区の区長や役員に理解されているか。また、理解されるためにどのようなことを行っているか。

市長

地域差はあるが、全体として策定当時の熱や思いは十分に伝承されていない。

地域職員連絡会に所属する職員から、「めざす地域の姿」に意義や経緯を関係者に説明をしていく取り組みを徹底する。

質問

「めざす地域の姿」を達成するために、市役所職員と地域が今後どのように連携して取り組んでいくか。

市長

地域と行政のパイプ役として、地区懇談会という仕組みをベースとし、地域に関わる立ち位置が良いと考えている。

質問

区が抱える課題の解決策として、



地区懇談会

地域職員連絡会の取り組みを活性化させ、歴史的にも関係の深い区が連携していくことが有効だと思うがどうか。

市長

相互の同意の下に隣接する区が連携することは、人口減少社会の中で有効と考える。市民協働がないと、今後行政だけ、また市民だけが頑張っても改善や発展はせず、それぞれの役割、社会的な位置を確認しながら協働していくことが大変重要だと思う。



「音楽のまち、こもろ」の実現を目指して 福島鶴子

質問

「まちじゅうに音楽があふれるまち」のイメージはどんなものか。

市長

例えば、ウィーンのように街角で自由に楽器が演奏され音楽が流れていたり、朝学校からは、子どもたちの歌声が聞こえる。そんなまちをイメージしている。

質問

現在の小諸市の音楽愛好家は決して多くない。小中学校のレベルを一般の市民まで広げる事をどう考えているか。

教育長

まず、小中学校の若い土壌づくりから始めたい。

質問

小諸には、島崎藤村、永六輔、小林亜星さん等、ゆかりの人の「歌碑」がある。「在るものを活かす」観点から、これらを活かした「まちづくり」が考えられる。例えば、「健幸マイレージ」に「歌碑めぐりツアー」を入れたり、観光地域づくりの一つの素材として

活用する等、考えられないか。

市長

「歌碑」の件は、利活用できるようにしたいと思う。

質問

「音楽のまち」も本腰を入れれば、さまざまな広がり期待できる。市民の声を吸い上げ、行政は後押しをする事が大事ではないか。

市長

新たな企画として、複合型中心拠点誘導施設の多世代交流センターにピアノを置き、いわゆるストリートピアノのように、市民の皆さんの弾く楽しみ、聞く楽しみにつなげたいというアイデアがある。



小諸大橋記念公園の「山のけむり」歌碑



ごみ処理は市の責任で確実に実行を 掛川剛

質問

焼却施設供用開始5年目で、処理ができない程燃やすごみが増えた原因をどう捉えているか。

市長

今年に入り新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛で、粗大ごみ等の直接搬入が増したためと考える。

質問

施設での受け入れ中止も検討せざるを得ない状況と、広報8月号にあるが、廃棄物処理に責任を負う市としてどう考えるか。

市長

粗大ごみ等が一時的に大量に搬入されると、処理に支障をきたし、一時的に止めなければならぬ旨を掲載した。集積所に出されたごみや焼却施設に直接搬入されたごみは、安定的かつ適正な処理を行っていく。

質問

組成調査（ごみの中身調査）により、何をどう減らしていくかを具体的に示し、市民に行動してもらう必要があると考えるがどうか。

市長

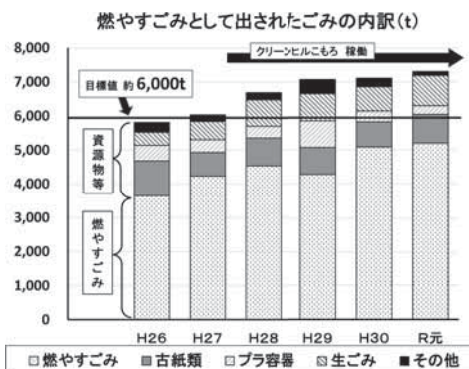
指摘のとおり、具体的に示すことで減量につながると考える。

質問

収集運搬・焼却施設の外部委託をしているが、一般廃棄物処理に責任を負う市の司令塔としての役割は果たしているか。

市長

委託事業者とは契約に基づき業務が適正に履行されるよう、モニタリング会議・打合せ会議を毎月行つとともに、現場からの報告をもとに課題を考え指導監督をおこなっている。



組成調査による燃やすごみの中身の推移



市内感染を経てコロナ対策は進んでいるのか

神津眞美子

質問

新型コロナウイルス感染症に関しては、多くの皆さんが不安を感じ、特に市内感染が報じられてからは、その不安も一層大きくなっている。感染防止策として、市内でのPCR検査センター開設についてはどうなっているか。

市長

5月末に佐久市に開設された検査センターでは、8月末までに216件の検査が行われ、7月以降増加傾向にある。そこで小諸市にも検査センターを設置する方向で協議をし、詳細な内容について調整中である。10月中には開設できるように準備している。

質問

各地の9月議会では、検査体制の拡充や、検査をより受けやすくするための支援策、負担軽減を図るための予算提案がみられるが、小諸市の考えはどうか。

保健福祉部長

各地の事例も参考にしながら研究していきたい。

質問

感染拡大防止や不安解消を図るために、さらに踏み込んだ市民への支援策を考えていただきたい。今後、秋から冬にかけてインフルエンザとの同時流行が心配されるが、対策はどうか。

市長

特に重症化が心配される高齢者のインフルエンザ予防接種については、例年10月15日から12月末まで実施している助成期間を延長し、本年10月1日から令和3年1月末までとする。ご高齢の皆様には、早めに接種するよう呼びかけたい。



インフルエンザの予防接種はお早めに

12月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
			11/26 本会議 (提案説明等)	27	28	29
30	12/ 1	2	3	4	5	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 (議案質疑等)	12	13
14 総務文教 市民福祉 産業建設 各委員会	15 予算決算 委員会	16 委員会予備日	17	18	19	20
21	22 本会議 (委員長報告等)	23	24	25	26	27

傍聴される皆様へお願い
(新型コロナウイルス感染予防)

次のことにご配慮をお願いします。

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・傍聴席に着く前に、備え付けのアルコール消毒液で手の除菌をお願いします。
- ・発熱などの症状がある方や、体調のすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

※傍聴席は間隔を確保してお掛けください。

※状況により、日程等の変更となる場合がありますのでご了承ください。

*開議時間は概ね9時からとなります。

この日程は予定であり議会運営上変更となる場合がありますので、ご了承ください。

詳しくは議会事務局22-1700(代)へお問い合わせください。



ぼいす

第14回

キラキラ★小諸人 アルテイスタ浅間 (ジュニアチーム)

サッカーチーム「アルテイスタ浅間（ジュニアチーム U-12）」をお訪ねしました。

Q1 発足はいつですか。

12年前にアルテイスタ東部のジュニアチームとして発足し、平成31年3月に現在の名称に変更しました。

Q2 どんなチームですか。

7歳から12歳までのサッカーが好きな子ども達も自由に入れるチームで、現在、佐久市から上田市までの地域から80名が入っています。

スタッフが若いので練習等に活気のあるチームです。

Q3 参加する楽しみはありますか。

サッカーが好きな友達

と練習や試合ができることと、遠征試合で他のチームに勝利した時が楽しいです。

Q4 今後の活動目標はありますか。

発足当時、長野県で一位となり全国大会に出場した経過があるので、再度全国大会を目指したいです。

Q5 練習の日程はどのようになっていますか。

市内企業のグラウンドをお借りし、平日は火曜日と木曜日の夜7時30分から9時まで練習し、土曜日は11時から午後1時までの練習が試合日となります。

Q6 皆さんに伝えたいことはありますか。

小諸市の子どもの入会者が少ないので、サッカーが好きな方は練習等



練習風景



試合風景

を見に来てもらい、たくさんの方に入ってもらいたいです。

なお、詳しい情報は「アルテイスタ浅間」のホームページをご覧ください。

編集後記

当議会9月定例会の一般質問では、ごみ問題に関する質問が多く取り上げられています。なぜ、ごみ問題の解決が必要かと言つと、環境を守るためであり、私たち及び将来の世代が安全で快適な暮らしを得ることに繋がるからです。このことは誰もが理解していることですが、環境を守ることは地球規模で長期的な取組であるため、日頃から意識することが薄れがちになります。

ごみ問題の解決は、3R（ごみの発生抑制、再使用、ごみの再生利用）や食品ロスを減らすことなど、私たち一人ひとりが日頃から意識し行動に移すことが成果となって現れます。ごみ問題に限らず、コロナ問題もしかしりですが、地球規模の問題を解決するには私たち一人ひとりの小さな意識と行動が大きな力となります。みんなで問題解決に繋がる一歩を踏み出しましょう。（充）

傍聴席



市区
星野信雄 さん

小諸市内でもコロナ禍の不安が高まっており、命に関わる大きな問題に、市・議会・議員が市民の命と安全安心のためにどんな対応策を考えているのか大いに関心があり、

今回で2度目となる一般質問の傍聴をしました。ただ今回は個人質問の持ち時間が40分と、今までの60分から大幅な短縮で物足りない感がありました。コロナ禍での配慮で決つたと聞きましたがどうでしょうか。私が傍聴した1日目の午前は数人、2日目の午後は2人しか傍聴の市民の姿は見えず、拍子抜けという感じもしました。これでは議員も力が入らないのではないかなと。皆さんの今後の活躍に大いに期待しています。考えてしまいます。今回傍聴して思うことは、議員は質問するときには、市民に何を求めているのか、答弁がそれに応えているのか、傍聴する市民に分かりやすく、質問に十分な工夫を加えることもお願いしたい。一般質問は議員さんの日常生活の成果を市民に知らせるチャンスでもあるし、私達は知るチャンスだと思つたので、議員の皆さんの今後の活躍に大いに期待しています。